



千八百七十七年九月十五日發兌
東京タイムス抄訳
社説
外國樹木ヲ日本國ニ移栽スル説
英國ニ何様ノ保護財政ヲ施セシ乎
同九月二十二日發兌
社説上款
社説下款
保護法ノ自由貿易ヲ壓倒シタルヲ論ス

4144



114
A3181



東京タイムズ社説

日本新聞 東京タイムズ社説

レヲ前欸ニ陳述シタリ今尚ホ茲ニ其貨幣輸出入報告ノ明文ニ
因リ試ニ其利害ニ関涉スル處ヲ闡陳スレハ常ニ金貨ノ輸出其
輸入ヨリ大ヒニ超過スル節チ是レナリ今某月ノ報告ヨリ抄録
シテ其證例ヲ擧ケハ則チ左ノ如シ

輸出貨幣高 一、三八八、三三〇、五〇七、四

輸入貨幣高 一、三一、一三〇、七七二、四

輸出超過高 一、三五七、一九九、七三五、四

斯ノ如ク輸出高ノ常ニ超過シテ其撻衝ヲ失ヘル事ハ世人ノ之
レヲ知ル既ニ久キカ故ニ其濫出ノ原由果シテ何ニ依テ然ルヤ
ハ殆ントト明知シタルカ如シト虽トモ我輩尚ホ一歩ヲ進メテ其
然ル所以ノ原由ヲ審査考覈スルニ当リ其報告中ニ往々不條理

大正十一年四月

ノ事アリ 散見シタリ

其報告中貨幣輸入ノ部ニ洋銀八萬四千九百九十六弗七拾五セ
シトト記載セル慶ヲ見ルニ之レヲ以テ日本金貨ニ對照シ毫末
ノ差違ナク同シク八萬四千九百九拾六錢ト掲載シタリ是レ日
本稅関ノ其宜シキヲ得サルヨリ知ラス識テス日本ニ幾分カ
消耗ヲ與フルハ的例ナリ

抑モ日本政府ニ於テハ洋銀ヲ以テ日本貨幣ト云ハシ以テ其值
價ヲ等フマルモノト公認シタルカ故ニ輸出輸入ノ論ナク皆ナ
洋銀ヲ以テ金貨ト其價格ヲ同等ナラシメタリ故ニ又其報告中
ノ貨幣輸入ノ部ニ洋銀貳萬八千弗ノ輸入高ヲ以テ日本金貨ニ
萬八千四ト對照セリ併シ其報告ノ妄誕無稽ナルモノ茲ニ止ラ
スシテ或ハ尚ホ斯ノ如キ類アリ而シテ是レラハ斯ク緊要ノモ
ノニ非スト虽トモ亦タ少シク注意セシハアル可ラス然リ而

シテ何等ノ事項ニ関セス洋銀ハ勿論凡テ外國銀貨ヲ以テ日本
政府ニ於テ其金貨ニ對較スル事アラハ皆ナ其妄誕ナルヲ見ル
ニ足ル可シ

凡ソ一国ノ政府タルモノ自國ノ貨幣ヲシテ其值價推衡ノ完全
無缺ヲ保護セスンハアル可ラス然ルニ日本政府ニ於テハ其要
領ヲ等閑ニ付シテ曾テ顧省セサルモノ、如シ是レ我輩ノ竊カ
ニ疑カヘル慶ナリ而シテ斯ノ如キ貨幣上ノ弊言 將來ニ禦カ
シト欲スルノ策タルヤ甚々觀易キノミ唯タ日本大藏卿 手
ニ唾セハ事奉ランノミ

我輩前週ニ説示シタル如ク願クハ日本政府ニ於テ先ツ一鞭ヲ
撻策シ挽關ニ於テ洋銀ハ一切杜絶シテ之レヲ受ケサルモノト
為シ然ルニ日本貨幣ヲシテ自カラ各國ノ貨幣ノ平均ナラシム
ルヲ論 領會シ来リ以テ之ヲ喜納アランコトヲ

然レト、本政府ニ於テ依然シテ仍ホ舊式ニ據レハ恰モ其
貨幣ノシテ漸々ニ品位ヲ毀傷セシムルニ異ラス乃ハナ現
時英米ノ金貨ハ日本金貨ノ上ニ位シテ其價貴シ又日本金貨及
ニ貿易銀ハ洋銀ト對坐シテ其位ヲ劣フス是レ日本政府ノ為メ
ニ我輩ノ憂フル慶ナリ
此ノ論題ニ就キ曩キニ日本新聞紙ナル近事評論記者ノ、ク茲
ニ着眼シタルヲ視テ我輩ハ抃喜雀躍ニ堪ヘス譯之レテ後章
ニ掲載ス蓋シ日本新聞紙幾多アリト虽トモ此等ノ斯ク熱心
ニ追記討議シタルハ此ノ新聞紙ヲ以テ濫觴ト為スニ足ル

外國樹木ヲ日本國ニ種栽スル說

或ル人曰ク外國樹木ヲ日本國ニ移栽殖藝スル其費用僅々且ツ
其勞カモ亦少々ニシテ其利益ヲ興スモノ幾許種アルヘレト虽
モ新々ニ之カ種藝ヲ成スハ到底費耗ノ事業タルヲ免レス故ニ内
地ニ許多ノ不毛地アルモ未タ此ノ地ノ利益ヲ集スルノ方法ヲ
得ルノ目途ナシト言ハ是レ我輩ノ解セサル所ニシテ且ツ内地
ニ旅行スル外人ヲシテ屢々愕然タラシムル事マ疑ヒナシ
試ニ吾ヨ野菜及ヒ樹木ノ類ハ許多内地ニ栽植シ以テ其味ニ
舛ク適シタルモノヲ例セハ馬鈴薯、胡蘿蔔、甘藍、蕃茄、玉蜀黍、蠶豆、
南瓜、胡瓜ノ類ニシテ此他ニ尚ホ須要トセハ斯ノ如キモノ夥多
クリ而シテ右等ノ野菜ハ外國人及ヒ肉食ヲ嗜ム者ア住居スル
土地ニ於テハ其需片スル所多シトス
然レトモ我輩尚ホ一步ヲ進メテコノ事ヲ大ニシテ論スレハ外

国ノ樹木ハ野菜ノ類ヲ日本ニ輸入シ以テ之ヲ種栽耕植セハ
必テ人日ノ貿易ニ一種要領ノ物品ト成リ「ツロ」ノ事ニ奮
然従事スルモノアル能ク其費ヲ償フニ足ルノ收獲ヲ得ルナ
ルベシ故ニ我輩ハ今日此事業ヲ為シ能ハサルモノト臆測シテ
之ヲ等閑ニ付シ去ルニ堪ヘサルナリ今其事業ノ確實ナルヲ引
正セシト 輓近印度「シロ」シ「チャコイカ」「チャバ」及ヒ其他ノ邦ニ於
テ幾ニ樹ヲ種藝セシニ印度「シロ」ニ於テ 外ニ其功効
ヲ奏シ今ニ至テハ其發起者ヲシテ方サニ印度地方ヨリ莫大
ノ幾尼涅ヲ産出セントスル希望ヲ副ヘシメタリ其他未タ全ク
コノ地方ニ於テ開ケサル所ノ許多ノ貴重スヘキ樹木ヲ植シ皆
良ク其地味ニ適中シタルノ故ヲ以テ愈々増植シテ彌々繁植ス
ルノ好景氣アリ是ヲ以テ之ヲ考フルニ今若シ日本ニ於テ種栽
シテ其奏功ヲ豫シメ今日ニ確信セラルヘキモノハ即チ「カサ」油

樹是レナリ元来コノ樹ハ最モ容易ニ繁殖スヘキ樹木中ノ一種
ニシテ素ハ亞非理加及ヒ東印度ノ産ナレトモ漸ク諸方ニ於テ
之ヲ植シ西印度及ヒ南北亞墨利加歐洲北方ノ地邦及ヒ英国ニ
至ルマテ廣ク之ヲ植スルニ及ヘリ就中氣候温暖ナル地方ニ於
テハ尤モ其生長速カニシテ且ツ一度其種子ヲ植付シタルノ後
ハ培育ヲ加ヘスト虽モ二十「ト」或ハ其以上ノ高樹ニ長スル
コト多キナリ而シテコノ樹ハ能ク風雨寒暑ニ堪テ枯槁大蘗
ハ甚ハク且ツ殆ント何等ノ地味ヲ問ハス能ク生長ノ功 見ル
ヘシ而シテ之ヲ種栽セハ其地方ニ一層ノ好景ヲ添ヘ且ツ要用
ノ方物ヲ増補スル所以ニシテ結局其國ヲシテ樹木鬱蒼タル美
觀ヲ致スモノナリ然リ而シテコノ樹幹ヨリ油ヲ絞出スルノ事
業ハ容易ニシテ蓖麻油中殆ント三割ノ油ハ此種ヨリ出ツ故ニ
此ノ貴重ナル産油樹ヲ日本ニ於テ盛大ニ植藝スルコトアラシ

七
歳
首

ハ恐ク、鴻益ヲ享興スル物ナラン

日本ニ於テハ材木 需用元来夥多ナルカ故ニ茲ニ又日本人民
著目ニヘキ一種ノ樹木アリ即チ護謨樹是ナリ尤モ此ノ樹ハ
埃斯多利^リ並護謨樹ノ類ヲ良シトス今我輩日本ニ於テ觀ル所ノ
藍色護謨樹ハ即チ此類ナリ而シテ其生長著シキカ故ニ多年ヲ
ムスニテ大樹ニ長スヘシ且ツ同種類ニシテ赤色護謨樹アルモ
未ダコノ地ニ之ヲ植付シタルヲ見聞セス然モ等ク是レモ亦
埃國護謨樹ノ一種ナルヲ以テ之ヲ種栽スルモ藍色護謨樹ト
同シク其費用ヲ償フニ足ルヤ疑團ナシ然リ而シテ此ノ如キ護
謨樹ハ埃斯多利亞又ヒニウズキ^キラントノ地味ニ寔ニ好ク適
フヲ以テ茲ニ居留スル外人ハ之ヲ取テ大ニ利スル所アルカ故
ニ其之レヲ貴重スル當ナラス蓋シ其樹質ノ堅硬及ヒ其他ノ質
ヲ天有スルヲ以テナリ

抑モ毎年夥多ノ木材ヲ海外ニ輸ス日本ノ如キ國ニ在テハ常ニ
之レカ供給ニ辨スルニ足ルノ樹木植藝ノコトニ着眼セスハ
アル可ラス是ヲ以テ我輩ハ其生長速カニシテ且ツ大樹ト成ル
此等ノ樹木ヲ移植スルヲ殊更ニ日本國ニ勸奨スル所ナリ

「ライジン」長崎新聞

英國ニ何様ノ保護財政ヲ施セシ乎

英國論者ハ費府新聞ニ自由貿易ノ政術ヲ稱賛シ之レヲ以テ製
造貿易ノ主トスル國ニ勸奨スルノ論アルヲ視テ頗ル喜色ア
リ然レトモ此等ノ論者中浪リニ自由貿易ヲ主張シテ知ラス識
ラズ其言詞中保護ヲ利得ヲ看者シタル語意ヲ發スルモノア
リ曰ク英國ノ貿易今日ノ旺盛ヲ致セルハ偏ヘニ保護ニ依テト

四季
報告
新聞

十七或ハ又我製造ノ逞巧卓越ナルモノモ亦々全ク保護ノ致ス
慶ト

ノコ之レヲ例セハ千八百七十七年七月發兌ノ「以丁休土四季批
論ニ女工エリサベ」代ノ英國景状ヲ論シテ云ラク「三リサベ」
時代ニ於テ我政府ノ特ニ商業ヲ保護シタルハ所謂自卑登高ノ
理ニシテ當時ヲ保護ハ今日ノ旺盛ニ攀登シタル階梯ナリ然レ
今日ノ商業ヲ保護スルハ到底貿易ヲ束縛スルヲ免カラスト
今此論ニ依テ我輩ノ觀察ヲ下サバ此記者カ今日ノ保護ヲ以テ
束縛限制ト看做シ痛ク之ヲ咎責シタリト虽モ吾人ゾ知ラシ昔
時ノ束縛ハ今日ノ旺盛ヲ賛成シタルナキヲ故ニ我輩ハ論者ノ
忌諱ヲ憚ラス此ノ論ヲ以テ保護法ノ英國ヲ利シタル所以ノ実
証ト看做サバルヲ得ス
然リ而シテ今日ノ保護法ハ束縛ナリト云ヘル論鋒ト又エリサ

ベス時代ニ於テ幾分カ保護ニ因テ英國ヲ利シタリト云ヘル語
氣トハ自語撞着ニ非サルヤ否ヤノ判定ヲ以テ我輩今マ世ノ自
由貿易論者ノ觀察ニ任スニ先タツテ此記者カ批論セル所ヲ尚
ホ茲ニ登録シテ其参考ニ供セント欲ス

叔千五百三十四年ニ生レタル英國僧侶ハリソン氏ナルモノ著
述ニ係ル千五百年代ノ英國景状ヲ誌ルセル再版ノ書中ニ痛ク
當時ノ商家輩ヲ咎責シタル論ヲ視テ此記者之カ批評ノ下シテ
ヒク畢竟ハリソン氏カ當時ノ商家ヲ非責シタルハ政府ノ保護
ニ因テ壟斷ノ權ヲ占有シタルヲ以テナリ然モ熱々當時ノ商家
ノ事實ヲ考察スレハ壟斷ノ權ヲ占有シタリト虽モ亦テ又之ヲ
非ニシタルニ非ス只冒進銳意シテ今日英國ノ宇内ニ冠タル貿
易ノ一本ヲ構造シタルニ外ナラヌ是ヲ以テ當時英國ノ貿易ハ
夕幼穉ノ状態ヲ離レスト島に今日ノ殷富旺盛ハ果シテ皆此

商人商家輩カ勤勞ニ因ルヲ以テナリ故ニ「バウソング」ガ痛ク此輩
ヲ劣スシタルハ恐クハ過激ニ失シ其當ヲ得サルモノ、如シ且
ム今日ヲ如ク貿易成長ノ時ニ在テ保護法ヲ施セハ却テ商家輩
ヲシテ仕々其資産ヲ危殆ノ淵ニ臨ニシムルノ毒物ルヲ免カ
レス、虽モ當時ノ如ク其幼稚ノ地位ニ在テハ欠ク可カラサル
ノ要員タリ故ニ我輩ハ當時ノ保護ハ今日ノ旺盛ニ攀登シタル
ノ階梯ト謂ヘリ然リ而シテ今日ノ貿易ハ敢テ保護ノルヲ假ル
ヲ要セサルカ故ニ今日ニシテ保護法ヲ主張スルハ素ヨリ偽造
ノ經濟論タルヲ免レスト虽モ遠ク「エリサベ」時代ニ在リテ之
レヲ難スルハ理ナキニ似タリト

今我輩ハ以上ノ軌論ヲ視其末文ニ今日々貿易ハ敢テ保護ノカ
ヲ假ルヲ要セスト言ヘル一言詞アルヲ以テ止ムヲ得ス四季批
論ノ記者ニ向テ揚言セサルヲ得サル事アリ曰ク千八百七十年
ニ於テ英政府ハ蒸汽船會社ニ六百萬弗餘ノ金額ヲ投與シテ之
レヲ保護シタルノ事實ヲ此記者ニシテ識ラサルモノトハ我輩
殆ント想像スル事能ハスシテ且ツ此著實ナル記者ノ為メニ復
タ執ラサル慶ナリ

サンフランシスコメーブル新聞

東京タイムズ社説

夫、一系商賈ハ其駈引ニ於テ間髪ヲ容レサル處アリテ能ク人
ノ思心ヲ激動セシム是レ恰モ賭夫ノ危険ヲ冒シテ其贏輸ヲ決
スルモノ、如ク爾リ故ニ大ヒニ巨利ヲ射ル事アレハ又太ク損
敗ヲ招ク事アリ假令ハ僅々二三日子ノ間ニ生糸一捆ノ價ニ壹
貳百弗ノ差違ヲ生スル事其例大シテ鮮少トセス是ヲ以テ高貴
品高貴品トハ貿易上ノ俚語ニシテ即チ生糸ノ謂ナリノ賣買上ニ於テハ假令恠ト見込
ム事アルモ豫シメ其相場ヲ測定スルヲ甚タ難シト為ス而シテ
且ツ大ナル取引ニ於テハ其損益ノ干涉スル處ロモ亦察シテ大
ヒナリト云フ可シ

今ヤ生糸賣買ハ本年春以來ノ衰凋アリシヨリ還タ再燃ノ勢ヒ
ヲ復起スルニ至レリ然レトモ我輩ハ生糸賣買上ノ景況ヲ茲ニ
説述スルヲ暫ラク閣シテ更ニ蠶卵紙製造ノ実景ヲ陳陳セル蓋

蠶卵紙製造ノ研究ノ新試

レ此ノ事業ハ日本ニ於テ農家ノ苦勞ニ堪ヘサル老少婦女子ノ
為メニハ殊更ニ利潤アル事業ト看認セラレタルカ故ヲ以テ概
ネ農民ヲシテ大ヒニ前途ニ屬望セシメタルモ今日ニ至リテハ
殆ント此ノ業ノ衰微ニ至ラントスルノ勢ヒアリ然レトモ数年
前ニ在リテハ佛蘭西及ヒ伊太利亞ニ於テ日本ノ蠶卵紙ノ之ニ
依頼シ其之レヲ要求スル甚タ急ナルカ故ニ其製造ハ日本一大
業ト成ルノ希望アリシモ今ヤ既ニ畫餅ニ屬シタルモノ、如シ
故ニ此ノ業ニ從事スルモノハ豫シメ其結果如何ヲ推察セスン
ハアト可ラス然ルヲ存茲此ノ業ニ偏倚シ一條ノ煙火ニ燼滅セ
シムルニ如キ蠶卵紙ヲ製作シテ歲月ヲ經過セハ將テ何トカ言
ハシ
本日 七日刊行ノイコト、デユガヤホニニ掲載シタル生糸外商ノ
書翰ハ日本蠶卵紙製造人或ハ其交渉者ノ為メニ日本新聞紙上

ニ摘録スルニ足ル事實ヲ記或セリ其文ニ曰ク
口六ニ於テ明年外國ノ需用ニ充ル蠶卵紙ハ現時ヲ以テ其需
ニ應シタル高即チ五十万枚ニテ十分ナル可シ且ツ今年ノ如
キハ渡来ノ外商大ヒニ減レ今日マテ之レヲ算スルニ僅カニ
伊國ノ拾五名ニ過キス此上ニ尚ホ全國ヨリ來舶スルモノヲ
多ク見積ルニ十人ヨリ登ル事ナカル可シ而シテ佛國人ノ如
キハ疑クハ一人モ到リ來ル者ナカル可シ如何トアレハ佛國
ニ於テハ本年蠶卵種ノ成果十分ナル功績ヲ顯ハシ假令氣候
ノ惡シキ地方ニ於テ製セルモノト虽モ日本蠶卵紙ニ比スレ
ハ優等ノ物ト為セリ又伊國ニ於テモ十分ノ奏功アリテ日本
ノ蠶卵紙ヲ用ヒスレテ獨リ自國ノ種子ヲ以テ其繭ヲ養育セ
リ蓋シ日本ノ蠶卵紙ハ自今ポドモント「ロンバノデ」及ヒ
ウエシヤノ三地方ニ於テ需用スルノ外ハ其需メ全ク減盡シ

タルモノ、如シ而シテ是等地方ニ於テ其需用スル處ノ蠶卵
紙ハ毎年一百五十万「オン」ニ降ラスト虽トモ日本ヨリ賣込
ノ高ハ好景氣ナルモ僅カニ四五十万枚ノ間ニ在リ且ツ其賣
客ハ一枚ニ付十「フラン」或ハ十二「フラン」ヨリ多クハ拂ハ
ス是ヲ以テ買客ニ在リテハ常ニ其利アリトスル所以ナリト
今若シ日本商家ニシテ各幾分ノ釀金ヲ成レ一種ノ合本會社ヲ
設立シ以テ其蠶卵紙ヲ海外ニ直送スルニ利アリト思考セハ素
ヨリ之レヲ成ヌニ十分ノ権力ヲ有スルト虽トモ之レヲ客歲ノ
實驗ニ照ラシ來ラハ恐クハ亦其不利ナルヲ悟ル處アララン蓋
シ遠方ヨリ外商此ノ地ニ航來シテ偶マ日本人民ノ街中ニ陷ヒ
リ為メニ囂々不平ヲ鳴ラヌ處アラシメハ豈亦由々シキ事ニア
ラスヤ然モ日本商家ニシテ其機智ヲ運行スルニ於テハ我輩復
々何ノ關係カ之レ有ラン然リ而シテ曩キニ日本人民ニ取テ賀

易ノ大利源タル蠶卵紙ノ貿易ハ漸ク衰頽シクルヲ以テ従来之
レカ為ニ利ヲ得タル慶人々ハ愁眉ノ情態ナシトセス依テ我
輩以テ為ラク日本人民ヲシテ後來蠶卵紙製造ノ事業如何ヲ推考
セシメハ到底幾多ハ人民ノ労力ハ水泡ニ帰シ唯空シク歲月ヲ
經過スルニ外ナラサル事ヲ覚悟スヘシ
日本人民ハ自今佛蘭西伊太利亞ニ其蠶種ノ需要ヲ希望ス可ラ
ス但シ思フニ此等ノ国ニ於テ若シ氣候不順ノ時アラハ其商人
此ノ地ニ來リテ需ムル事アル可シ故ニ日本国ニ於テ苟シクモ
蠶種製造ノ外ニ利潤アル術アリトセハ蠶卵紙賣込ノ空望ヲ停
止シ以テ其労力ヲシテ國內工業ノ開進ニ向ハシムルニ若クナ
シ蓋シ日本人民ニシテ已レノ供給ノ巨太ナルヲ要セハ豈特リ
絹帛ノ材料即チ蠶卵紙製造ノミニ止マルニ非ス宜シク絹帛ヲ
縫織スルノ業ニ従事シ之レヲ以テ西方諸州ノ製造者ト競争ス

ヘシ是レ憂カニ策ノ得タルモノニシテ終ニハ確實ナル理財ノ
一法タルヲ証スルニ足ル可シ

東京タイムズ社説

英国ノ自由貿易論者ハ自家ノ説ヲ支持セシカ為ニ動モスレハ
有石^シシブライトナル自由貿易家ヲ抵訖シ来リテ其大名ヲ
藉リ以テ喋々スル所アルヤ疑ヒナ^シ然^レ此^ノ論ニ於テハ我
輩竊カニ疑團ヲ抱ク所アリテ黙々ノ間ニ付去ル能ハス茲ニ
一言セント欲ス抑^ス此人ハ一個ノ製造者ニシテ今外国トノ貿
易ヲ束縛スルト否ラサルトハ果シテ其營業上ニ大ナル影響ヲ
生スル所アリ故ニ一旦自由貿易ヲ墮滅セハ即チ其經營ヲ破却
シ其人ヲシテ失敗ヲ取ラシムル所以ナリ是ヲ以テ之ヲ觀レハ
此人ノ保護法ヲ非トスル説ヲ主張スルノ本意ハ果シテ煥々々
ル日光ノ如キ正心ヨリ出テタリト云フト^ト愚^ク抑モ亦自己ノ營
業上ニ關スル所アルヲ以テ然ルモノト臆測セサルヲ得ス故ニ
又其正心ニ出テスレテ妄リニ自由貿易論ヲ主唱スルモノト想

像スルハ其當ヲ得タリト云フ可カラス

我輩曩キニ自由貿易ヲ贊稱スルヲ^シンカツヤ^ハア^ノ製造者ヲ以テ
一個ノ醫士ニ比擬シタルコトアリ但云フ此醫士ハ一種ノ石藥
ヲ發明シ只管世人ノ購求ヲ是レ望ミ一家ノ利ヲ圖ルニ汲々タ
リ然リ而シテ今若シ此製藥ヲ買フモノ世上一人モシレナシト
セハ即チ餓死セン而已然^レ偶^々此藥方ノ以テ自己ノ患疾ヲ治
ムルノ功アルヲ知リテ其喜ヒ窮マリ無ク世人ノ之ヲ好ムト好
マサルトニ論^クク^テ下ノ人^ノ拳^テ之ヲ服用セハ必ラス其功驗ア
ルヤ疑ナシト主張セリ而シテ其庸醫ハ則チ日^日匠ナリト^ト虽^レ氏^之
ヲ以テ責ムルニ足ラス蓋シ自己發明ノ藥方偶^々已レノ患疾ニ
其功驗アリシヲ以テ斯ク衆人ヲ誑導セント欲シタル而已而シ
テ其衷情如何ヲ問ヘハ思シテ一點ノ邪心ナクシテ赫々明々タ
ル正直心ノ致ス所ナルヘレ且^ツ彼^レノ費心思スルハ畢竟廣

ク世上ニ之ヲ懲服シ愈ク以テ己レヲ利セント為メナリト世人
亦彼ヲ咎責スルノ理ナリ世間只此美テ信用スル者アラハ即
チ彼カ得意ノ買客トナル而已
蓋シシヨシブライト其人ノ如キモ若シ各國ヲシテ能ク其自由貿
易論ヲ信用セシメハ其國ハ即チ彼レ及ビ彼レノ黨與ノ隷屬ト
ナルヲ免アレサル而シ是レ恰モ彼ノ富匠ノ買客トナルニ異ナ
ラズ然リ而シテ該氏ノ演說懸河ノ如ク其豪情日輝ノ如ク正明
ナリト屬モ到底自家ノ貴重スル慣手ノ自由貿易論ヲシテ挫折
セシタルニ至ルヤ昭々タリ

保護法ノ自由貿易ヲ壓倒シタルヲ論ス

凡ソ保護財政ヲ奉行シタル國ハ果シテ皆其工業上ニ法護ノ鴻
益ヲ現出シタルカ故ニ彼ノゴブメント（餐食ヲ借ニシ俱ニ事
理ヲ研究討論スル義）會ナリ幹事カ此法ヲ難論シタルモ終ニ其功ナクシテ英國ノ製
造者社會及ニ稍ヤ深慮アル新聞記者ヲシテ寔ニ其鴻益タル所
以ノ真理ヲ著認セシメタリ而シテ其製造者ノ如キハ漸ク自家
ノ囊中ノ空乏シタルヲ悟リ心中竊カニ之ヲ憂ヒ悵然トシテ之
ヲ探リテ云テタル此法之ヲ致セルハ全ク自由貿易ニ因ルト蓋シ
之ヲ世上ニ洩漏スルハ其意ニ非サルナリ又其記者ノ如キハ事
物ノ成果ヲ縮視シテ常ニ能ク其原由ニ迷リテ極論スルハ慣手
トシテ以テ現時ノ貿易果シテ何レ因テ今日ノ衰頹ヲ致セルヤ
論シタルノ極メテ妙ナリト屬モ之ノ故匠ノ策ヲ説カサルハ
我輩之ヲ憾トス况ヤ今日貿易ノ興敗ニ因テ休戚ヲ共ニス

ル製造者カ此等ノ記事ニ向テ救匡ノ方ヲ指示センコトヲ切ニ
望ムル者ニ於テヤ若クヤロンドンシウエールド新聞ハ後章ニ
採録シタルカ如ク貿易額廢ノ難キナルヲ明説シタリト云々然
氏未夕之カ救藥ノ要術ヲ説カズ蓋シ其疼痛極メテ難症ナレハ
ナリ
我輩以爲テク英國ノ製造者ハ徹頭徹尾己レト其業ヲ争フモノ
ニ頓頑シテ能ク之ヲ英國ヨリ放逐スルノ氣カヲ憤興スルコト
能ハサレシ故ニ彼輩ノ爲ニ謀ルニ一旦貿易ノ戰場ヨリ退去
シ以テ敵ノ銳鋒ヲ避ケテ其利ヲ棄ツルニ若クズ然レ剛愎極
ニシテ未夕自由貿易ノ足械ヲ穿着シ膽太クモ戰場ニ跳梁シ以
テ輕裝活利ノ敵ヲ迎ヘント欲セハ真ニ其餌タラサルヲ僥倖ト
ス
我輩今マ七月二十五日ノロンドンウエールド新聞ヨリ採録スル

巧尤ノ如シ

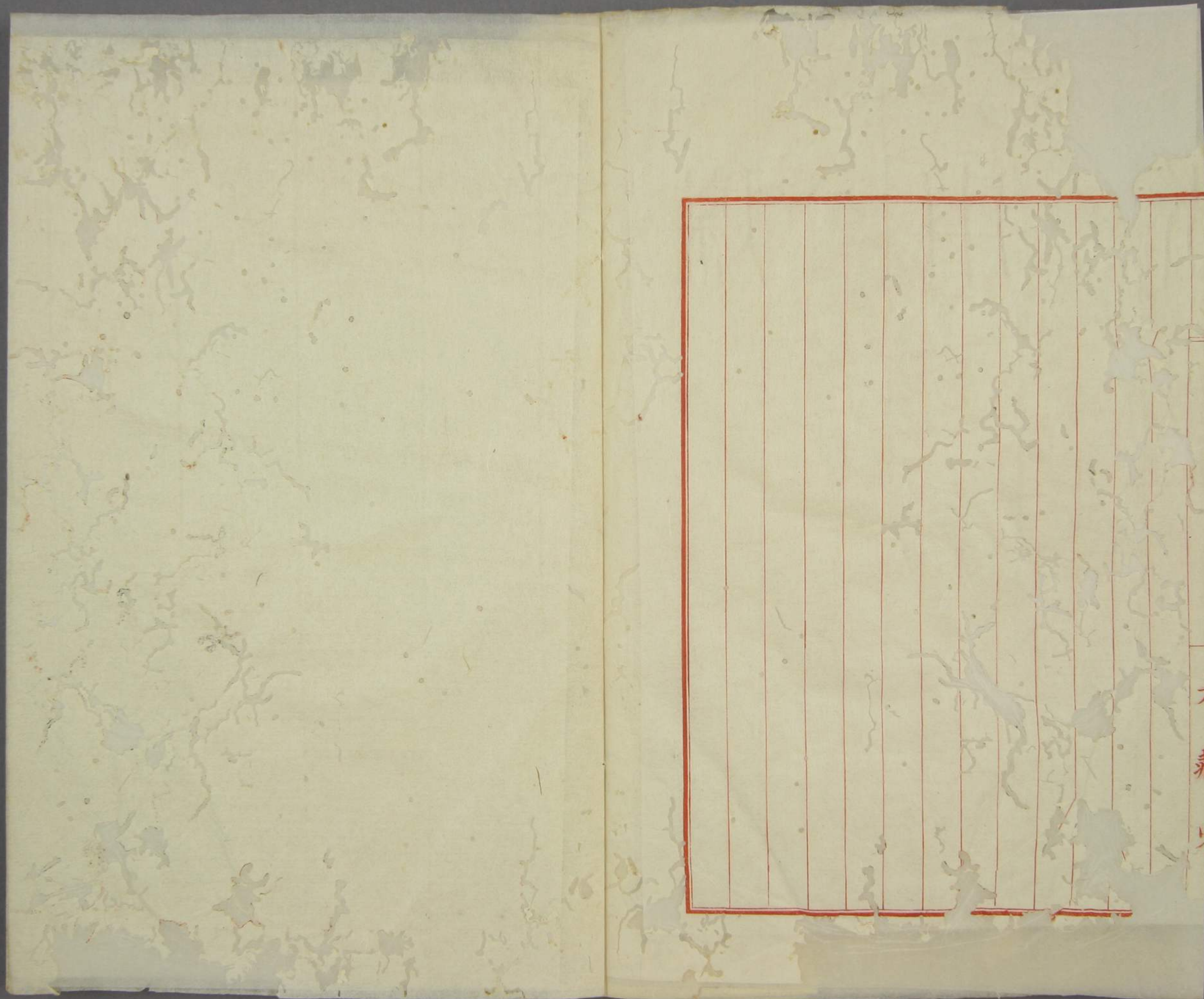
製造品ノ玉タル棉布其位ヲ統奪セラレタル実況
ロンドンタイムズノ投書家曰ク余一日村落ヲ徘徊シ偶然帛
布肆ニ入り其卓上ニ棉布及ヒ班布ノ散在セルヲ觀テ先ツ其
棉布ヲ取テ之ヲ閱スレハ其商標ハ則チ巖上ニ鷹ノ孤立シク
ル銘ニシテ且ツ十イシ計リニ英國製造棉布ト大書セリ次
ニ又其班布ヲ閱スレハ等シク米製ニシテ英國ニ設タル支店
ノ名ヲ記セリ而シテ其品質如何ヲ視ルニ英製ニ優ルモ決シ
テ方ルコトナシ試ニ其價ヲ問ヘハ即チ英製ヨリ廉ナルコト
函品ナカラ一ヤレドニ付一ペニ一ノ差アリト
大 寄送書ハ一週間許リ前ニ言折函ニ登タルヲ思
フニ此書ノ爲ニロンドンシウエールド記者ハ大ニ警醒シタル
アルモノカ如シ如何トナレハ汗流親體ニシテ日々事理ヲ論

究スル操ハ其カ今ニ至リテ世ノテ望ム衰頽シタル事ハ
論出シレハナリ然リ而シテ海外ノ通信ノ如キハ新聞
俟ラス凡テ之ヲ掲載シ以テ上ニ報道コト知テ鋭
捷ナリ假令ハガルカッタニ於テ一報ノ曰シド人ハ其海ニ及
ヘルト云フカ知キ事又ハラパンニ於テ醉飲シタルハ薩克人
カローマニヤノ一曰夫ヲ闕殺シタル事云フカ如キ事ニ至
マテ堂々ト之ヲ掲載セリ然レ吾人ノ慮下ヨリ起ル可ノ事假
令ハ倫敦ニ火アリテ市民之カ為ニ燔死セルモノ四人ナリト
云フカ如キハ新紙ノ一隅僅カニ二三行ノ間ニ之ヲ填録シ
殆ント人目ニ觸レサルモノ、如レ何ノ自國ノ実況ヲ探ルニ
粗ニシテ海外ノ事情ヲ探知スルニ密ナルヤ思フニ其紙幅狭
小ニシテ餘自ナキノ致ス可ナル乎抑モ亦平素ノ穎悟ニ似ス
シテ却テ放心不慮ノ致ス可ナル乎我輩ノ解セサル所ナリ

今ヤ我棉布製造ノ如キハ米製ノ為ニ壓倒セラレ殆ント方サ
ニ瓦解ノ勢アリ然ルニ許多ノ貴重スヘキ新聞ニ於テ之ヲ不
問ニ付シ一言ノ以テ此事ニ論及セサルコト茲ニ数月ヲ閱セ
リ着ヨヤ今日新約克ノロンスデールヨリ我國ニ輸送ス
ル棉布ハ英國ノ各府諸邑ニ於テ之ヲ販賣セリ而シテ之ヲ美
製ニ以セハ其品質優等ニシテ加之廉賤ナルヲ是レ我ラシカ
シヤ其製造ノ衰頽シタル凶兆ニ非スヤ又假令ニ閉眼シテ各
國ヲ遊覽スル者、其然ラサルヲ知ルモノ無カル可シ
レニ教千百ノ候、其為ニ自國ノ理財家ニ操觚者カ始メ
テ之ヲ發見シタルハ抑モ亦遲ク云ハサル得ズ、今
トシカ額癸ヲ挽回セント欲スルニ殆ント一ナキコト
其或ハ其製造者ヲテ勸勵取舞ヤシムルヲ得ハ其手續
キヲ保タトス

抑モロシクシテイ
及ヒ其他 記者 是 国 貿易ノ衰
ル 恰モ一陳 過 其 怨 雲 過 之 士
三 四 年 ナリト 屈 氏 未 タ 其 怨 雲 過 之 士
ル 而 已 ナラ ス 雲 色 漸 ク 惡 シ 今 ヤ 貿 易 ノ 勢
劣 アリ 然 ニ 製 造 者 ハ 猶 ホ 此 言 ヲ 妄 信 シ 候 不 断 以 テ 今 日
ノ 慘 状 ヲ 見 ル ニ 三 十 年 前 我 輩 ノ 憂 苦 ス 可 ナリ
我 輩 ハ 客 歲 以 来 屢々 世 間 ニ 向 テ 米 製 ノ 棉 布 ノ 消 込 カ ッ シ ヤ 井
正 製 造 品 ヲ リ 廉 ニ シ テ 且 其 良 品 ナル ヲ 明 説 シ タリ 然 ル ニ
我 輩 ハ 千 八 百 七 十 七 年 七 月 ニ 至 テ 始 メ テ ロ ン ド ン タ イ ム
ノ 此 事 ニ 論 及 シ タル ヲ 視 テ 大 ニ 其 遲 延 ナル ニ 驚 駭 セリ 故 ニ
又 世 人 ヲ シ テ 此 類 敗 ノ 実 况 ヲ 領 得 セ シ ム ル ハ 尚 ホ 幾 多 ノ 時
日 ヲ 経 過 スル ニ 非 サレ ハ 能 ハ サル ヘシ
以 上 ノ 論 説 ハ ロ ン ド ン タ イ ム 報 新 聞 ヲ リ 抄 録 シ タル 可 ナリ 而

シテ我輩以為ラク自由貿易ヲ稱嘆スル論者ノ横濱ニ居ル者ヲ
シテ亦此事ノ実タル所以ヲ明カニ了解セシムルハ恐クハ難カ
ルヘシ如何トナレハ論者中竊カニ英国ノ貿易瓦崩ノ勢アル実
蹟ヲ看認スルモノアリト屈氏務メテ之ヲ潜匿シ敢テ世ニ公ニ
スルヲ欲セサレハナリ



六
第
一

